



#4
W. L. Sawyer
9/3/00
PATENT
879-235P

IN THE U.S. PATENT AND TRADEMARK OFFICE

Applicant: Manabu HYODO
Appl. No.: 09/324,778
Filed: June 3, 1999
For: CAMERA WITH TOUCHSCREEN

Group: 2711
Examiner: UNASSIGNED

RECEIVED

AUG 31 1999

LETTER

TECHNOLOGY CENTER 2800

Assistant Commissioner for Patents
Washington, DC 20231

August 30, 1999

Sir:

Under the provisions of 35 U.S.C. § 119 and 37 C.F.R. § 1.55(a), the applicant(s) hereby claim(s) the right of priority based on the following application(s):

<u>Country</u>	<u>Application No.</u>	<u>Filed</u>
JAPAN	10-157481	June 5, 1998

A certified copy of the above-noted application(s) is(are) attached hereto.

If necessary, the Commissioner is hereby authorized in this, concurrent, and future replies, to charge payment or credit any overpayment to Deposit Account No. 02-2448 for any additional fee required under 37 C.F.R. §§ 1.16 or 1.17; particularly, extension of time fees.

Respectfully submitted,

BIRCH, STEWART, KOLASCH & BIRCH, LLP

By Donald J. Daley
Donald J. Daley, #34,313

DJD/scd
879-235P

P.O. Box 747
Falls Church, VA 22040-0747
(703) 205-8000

Attachment

Docket No: 879-235P
Application No: 09/324,779
Filed June 3, 1999

日 本 国 特 許
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT



別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて
いる事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed
with this Office.

出 願 年 月 日

Date of Application:

1998年 6月 5日

出 願 番 号

Application Number:

平成10年特許願第157481号

出 願 人

Applicant (s):

富士写真フイルム株式会社

RECEIVED

AUG 31 1999

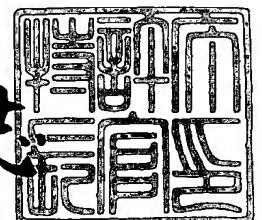
TECHNOLOGY CENTER 2800

RECEIVED
SEP - 1 1999
TC 2700 MAIL ROOM

1999年 5月28日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

伴佐山 建志



出証番号 出証特平11-3034433

【書類名】 特許願

【整理番号】 FJ97-123

【提出日】 平成10年 6月 5日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 H04N 5/225

【発明の名称】 画像表示器付きカメラ

【請求項の数】 6

【発明者】

【住所又は居所】 埼玉県朝霞市泉水3丁目11番46号
富士写真フイルム株式会社内

【氏名】 兵藤 学

【特許出願人】

【識別番号】 000005201

【氏名又は名称】 富士写真フイルム株式会社

【代理人】

【識別番号】 100083116

【弁理士】

【氏名又は名称】 松浦 憲三

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 012678

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9801416

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 画像表示器付きカメラ

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 撮影画像又は再生画像を表示する画像表示器を有する画像表示器付きカメラにおいて、

前記画像表示器の上面に押圧力を検知するタッチパネルを設け、該タッチパネルでの押圧の強さに応じてカメラ操作系に対して異なる指示を与えることを特徴とする画像表示器付きカメラ。

【請求項 2】 前記タッチパネルは、その押圧力が所定の押圧力未満の場合には撮影準備動作を指示し、前記所定の押圧力以上の場合には撮影動作を指示することを特徴とする請求項 1 記載の画像表示器付きカメラ。

【請求項 3】 前記タッチパネルは、前記押圧力とともにタッチ位置を検知し、前記タッチ位置に対応する被写体にピント及び／又は露出を合わせることを特徴とする請求項 2 記載の画像表示器付きカメラ。

【請求項 4】 前記画像表示器はカメラ操作項目を表示し、前記タッチパネルは、前記押圧力を検知するとともに、前記カメラ操作項目を選択できるようにタッチ位置を検知することを特徴とする請求項 1 記載の画像表示器付きカメラ。

【請求項 5】 前記カメラ操作項目は、ズーム、再生画像のコマ送り、画面スクロール、前記画像表示器の明るさ調節、及び音声再生時の音量調節のうちの少なくとも 1 つを含み、前記タッチパネルが検知した押圧の強さに応じてズーム速度、コマ送り速度、スクロール速度、前記画像表示器の明るさ、及び音声再生時の音量のうちの少なくとも 1 つを変更することを特徴とする請求項 4 記載の画像表示器付きカメラ。

【請求項 6】 前記画像表示器は、前記タッチパネルでの押圧の強さを表示することを特徴とする請求項 1 記載の画像表示器付きカメラ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は画像表示器付きカメラに係り、特に液晶モニタ等の画像表示器を有す

る画像表示器付きカメラに関する。

【0002】

【従来の技術】

従来、タッチパネル上での押圧の強さによって画面表示する領域の面積を増減できるようにした情報処理システムにおける情報処理装置が提案されている（特開平9-114593号公報）。この情報処理装置は、所望の画面を選択する際に、タッチパネル上での押圧に応じた面積分の画面が表示されると、次の画面の表示を可能にし、これにより全画面表示が終わってから次の画面を表示する場合に比べて短時間で画面の更新を可能にしている。そして、所望の画面が表示された場合にはタッチパネルでのタッチを離すことにより、全画面表示するようにしている。

【0003】

また、タッチスイッチを軽く押圧することにより選択項目を選択し、その後、強く押圧することによりその選択項目を確定するようにした情報表示装置が提案されている（特開平8-2211202号公報）。

更に、ペン、指などでタッチパネルを押圧し、その押圧力に応じて線の太さを変えらることにより、簡単に筆書きのようなフォントを作成できるようにしたフォント作成方法が提案されている（特開平8-6698号公報）。

【0004】

一方、ビデオカメラで撮影した映像を表示する表示装置にビデオカメラの操作項目を重ねて表示するとともに画像表示部にタッチパネルを設け、前記操作項目を指で触ってビデオカメラを操作する方法が提案されている（特開平9-116792号公報）。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、従来、カメラでの撮影画像や再生画像を表示する画像表示器の上面に、押圧力を検知することができるタッチパネルが設けられた画像表示器付きカメラはなく、もちろん、このタッチパネルでの押圧の強さに応じてカメラ操作系に対して適宜の操作指示を与えるものもない。

【0006】

本発明はこのような事情に鑑みてなされたもので、画像表示器の画面タッチによってカメラ操作ができるとともに、そのタッチ時の押圧の強さに応じて異なる指示を与えることができる画像表示器付きカメラを提供することを目的とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために、本願請求項1に係る発明は、撮影画像又は再生画像を表示する画像表示器を有する画像表示器付きカメラにおいて、前記画像表示器の上面に押圧力を検知するタッチパネルを設け、該タッチパネルでの押圧の強さに応じてカメラ操作系に対して異なる指示を与えることを特徴としている。

【0008】

前記タッチパネルは、本願請求項2に示すようにその押圧力が所定の押圧力未満の場合には撮影準備動作を指示し、前記所定の押圧力以上の場合には撮影動作を指示することを特徴としている。また、前記タッチパネルは、前記押圧力とともにタッチ位置を検知し、前記タッチ位置に対応する被写体にピント及び／又は露出を合わせることを特徴としている。即ち、画像表示器に表示されている主被写体にタッチし、その主被写体にピントや露出を合わせ、更に強くタッチすることにより撮影することができる。

【0009】

また、本願請求項4に示すように、前記画像表示器はカメラ操作項目を表示し、前記タッチパネルは、前記押圧力を検知するとともに、前記カメラ操作項目を選択できるようにタッチ位置を検知することを特徴としており、更に、本願請求項5に示すように、前記カメラ操作項目は、ズーム、再生画像のコマ送り、画面スクロール、前記画像表示器の明るさ調節、及び音声再生時の音量調節のうちの少なくとも1つを含み、前記タッチパネルが検知した押圧の強さに応じてズーム速度、コマ送り速度、スクロール速度、前記画像表示器の明るさ、及び音声再生時の音量のうちの少なくとも1つを変更することを特徴としている。

【0010】

更に、前記画像表示器は、本願請求項6に示すように前記タッチパネルでの押

圧の強さを表示し、これにより押圧力が把握できるようにしている。

【0011】

【発明の実施の形態】

以下添付図面に従って本発明に係る画像表示器付きカメラの好ましい実施の形態について詳説する。

図1及び図2はそれぞれ本発明に係る画像表示器付きカメラの実施の形態を示す正面外観図及び背面外観図であり、特に画像表示器として液晶モニタ10を使用したデジタルカメラ1に関して示している。

【0012】

図1に示すように、デジタルカメラ1の正面左上隅部には撮像部2が設けられ、該撮像部2を含むカメラの前面左側の部分は、撮影者が右手でカメラを把持し易いようにグリップ部4が形成されている。撮像部2の詳細な構成は後述するが、撮像部2は撮影レンズ（撮像光学系）を有し、撮影レンズの後方にはCCD（撮像素子）が配置されている。また、このカメラの正面右上隅部には補助発光部6が配設され、カメラの上面にはリリースボタン7及び電源スイッチ8が設けられている。

【0013】

カメラの背面には、図2に示すように単一の液晶（LCD）モニタ10が設けられている。この液晶モニタ10の上面には光透過性を有するタッチパネル12が配設される。このタッチパネル12は、パネル面上のタッチ位置（XY座標値）を示す信号を出力することができるとともに、押圧力（Z座標値）を示す信号を出力することができる3次元測定可能のもので、後述するようにタッチした位置及び強さによって種々の指示を与えることができるようになっている。

【0014】

液晶モニタ10の左右縁部には各種の操作ボタンが表示され、左側縁部には上から順にオートモードボタン14、マニュアルモードボタン15、複数指定モードボタン16、取消（UNDO）ボタン17、及び再生（play）ボタン18が配置され、右側縁部にはアップ（UP）ボタン21、ダウン（DOWN）ボタン22が配置される。

【0015】

撮影者はこれら操作ボタンや、液晶モニタ10の表示画像の主被写体56を指24やペン等を押圧すると、タッチパネル12によって検出されるタッチ位置（XY座標値）からどの操作ボタンが操作されたかを検知し、あるいは主被写体の位置を検知することができ、また、タッチパネル12によって検出される押圧力（Z座標値）により、後述するように異なる指示を与えることができる。

【0016】

図3はデジタルカメラ1の内部構成を示すブロック図であり、図4は図3に示した撮像部2のより詳細な構成を示すブロック図である。デジタルカメラ1は、主として、撮像部2、信号処理部30、内蔵メモリ（又は外部メモリ）32、出力用メモリ34、D/A変換器36、液晶モニタ10、タッチパネル12、及び中央処理装置（CPU）38等から成る。

【0017】

撮像部2は、図4に示したように、撮影レンズ40、絞り装置42、CCD（撮像素子）44、CDS回路46、A/D変換器48、タイミングジェネレータ50、レンズ駆動部52及び絞り駆動部54等から構成される。

撮影レンズ40は、複数枚のレンズから成るズームレンズであり、図示しないモータを含むレンズ駆動部52からの駆動力によってテレ又はワイド方向へのズームリング駆動が行われるとともに、後述のAF機能によってフォーカスレンズが移動できるようになっている。

【0018】

絞り装置42は、例えば、絞り孔が穿設された絞り板を絞り駆動部54の駆動力によって移動させることで、開放絞り（F2.4）と小絞り（F6.7）の2段階に絞りを切り換えることができるようになっている。尚、絞り装置の構成は、これに限らず、虹彩式絞り装置を採用して、更に多段階に絞りを切り換えることができるようにしてもよい。

【0019】

撮影レンズ40を介してCCD44の受光面に結像した被写体像は、CCD44において光電変換され、画像信号として順次読み出される。CCD44から読

み出された画像信号はCDS回路46で各画素毎にサンプリングホールドされ、図示せぬゲインコントロールアンプで増幅されたのち、A/D変換器48でR、G、Bの点順次のデジタル信号に変換されて信号処理部30に加えられる。

【0020】

撮像部2のCCD44、CDS回路46及びA/D変換器48には、CPU38によって制御されるタイミングジェネレータ50からタイミング信号が加えられており、このタイミング信号によって各回路の同期がとられている。

信号処理部30の詳細な構成は図示されていないが、この信号処理部30は輝度信号生成回路、色差信号生成回路、測光値演算回路、及び圧縮／伸長回路等のデジタル画像処理回路を含んでいる。撮像部2から読み出された画像信号は該信号処理部30において適宜処理され、シャッタートリガの入力に応じて内蔵メモリ32（例えば、カメラ内蔵のフラッシュメモリ）或いは着脱自在な外部メモリカード等の記録部に記録される。

【0021】

尚、詳しくは後述するが、このデジタルカメラ1では、リリースボタン7の押圧操作によってシャッタートリガが発せられる他、タッチパネル12を押圧することによってもシャッタートリガが発せられるようになっている。

また、撮像部2から読み出された画像信号や、内蔵メモリ（又は着脱自在な外部メモリ）32から読み出された画像信号は信号処理部30で処理された後、出力用メモリ34に出力される。そして、その画像信号はD/A変換器36を介して液晶モニタ10に導かれ、この液晶モニタ10に撮影画像が表示される。この液晶モニタ10には、シャッターリリース操作によって撮影した静止画のみならず、シャッターリリース操作前の画像（動画又は間欠画）も表示が可能である。

【0022】

CPU38は、カメラの各回路を統括・制御するものであり、タッチパネル12からの入力信号に基づいてタッチパネル12のタッチ位置及び押圧力を判定するとともに、ズーミング、フォーカシング等の撮影を行うための撮像部2の制御、液晶モニタ10における表示制御、内蔵メモリ32への画像データの書き込み／読み出し制御等を行う。

【0023】

また、CPU38は、所定のアルゴリズムに従って露出値、フォーカス位置等の各種演算を行い、自動露光制御、オートフォーカス、オートストロボ、オートホワイトバランス等の制御を行うとともに、タッチパネル12やリリースボタン7等の操作部からの入力に基づいてカメラの各回路を制御する。

即ち、CPU38は、画像信号に基づいて算出した露出値に従って撮像部2の絞り装置42とCCD44の電子シャッター値を制御して露出値を設定するとともに、算出したRBゲイン値に従ってゲインコントロールアンプを制御してホワイトバランスを設定する。

【0024】

また、撮影者が液晶モニタ10の表示画面（タッチパネル12）をタッチすると、そのタッチ位置が検出され、該タッチ位置の属する所定の測光エリアが判断される。そして、タッチ位置を含む所定の測光エリアについて測光値が検出され、得られた測光値に基づいて露出値が決定される。同様に、CPU38は、画像信号から被写体像の鮮鋭度を示す焦点評価値を演算し、その焦点評価値に基づいてレンズ駆動部52を介して撮影レンズ40のフォーカス系を制御し、フォーカス位置を設定するが、撮影者が液晶モニタ10上のタッチパネル12をタッチすると、そのタッチ位置が検出され、該タッチ位置の属する所定の測距エリアが判断される。そして、タッチ位置を含む所定の測距エリアの画像信号から焦点評価値を演算し、その焦点評価値に基づいて撮影レンズ40のフォーカス系を制御する。

【0025】

尚、タッチ位置の検出に基づいて主被写体の領域を判別し、その主被写体の部分の測光値に高い重み付けをするとともに、主被写体以外の領域の測光値には重みを下げ、画面全体から測光値を計算して露光値を決定してもよい。また、オートフォーカス手段は、上述の形態に限らず、AFセンサなど公知の測距手段を用いてもよい。

【0026】

更に、CPU38は、ズーム操作手段によって撮影者が設定した撮影レンズ4

0の焦点距離に従ってレンズ駆動部52を介してズーム光学系を制御し、撮影レンズ40の焦点距離を設定する。

次に、上記の如く構成されたデジタルカメラ1において、タッチパネル12での押圧の強さに応じてリリースボタン7の半押し（スイッチS1のON）又は全押し（スイッチS2のON）を示す信号を発生する場合について説明する。

【0027】

このデジタルカメラ1において、電源の投入時又はオートモードボタン14を押した場合にはカメラはオートモードに設定される。この時、液晶モニタ10の画面右上に「auto」と表示される（図5参照）。尚、マニュアルモードボタン15を押すことにより、明るさやフォーカス調整をマニュアルで行うことができるマニュアルモードに設定されるが、以下、オートモードで撮影する場合について説明する。

【0028】

電源が投入時されてオートモードに設定されると、図6に示すように撮像部2が動作し、撮像部2を介して被写体像を示す画像信号の取得が行われる（ステップS10）。液晶モニタ10は、この取得された画像信号に基づいて撮影画像（動画）を表示する（S12）。

そして、液晶モニタ10での撮影画像の表示中に、液晶モニタ10上のタッチパネル12が所定の押圧力未満の押圧力でタッチされたか否かを判別する（ステップS14）。ここで、図5に示すように液晶モニタ10に表示された画面上の主被写体56（タッチパネル12）を所定の押圧力未満の押圧力（タッチS1）でタッチすると、ステップS16に進み、撮影準備動作を行う。

【0029】

即ち、ステップS16では、タッチパネル12でのタッチ位置を検出し、そのタッチ位置を主被写体56の位置として取り込む。そして、図5に示すようにタッチ位置を中心とする所定の大きさの円の内側の範囲を主被写体56と判別し、こうして検出した主被写体の範囲を枠（以下、指示枠という）58で囲んで表示する。撮影者は指示枠58の表示により撮影準備動作が行われていることを認識することができる。尚、主被写体の検出方法としては、タッチした位置の輝度に

基づいて、その周辺の類似輝度の部分を主被写体と判別してもよい。

【0030】

上記のようにして検出した主被写体56を含む指示枠58の範囲に基づいて、自動露光(AE)、及びオートフォーカス(AF)調整が行われる(ステップS18)。

その後、タッチパネル12での押圧力が前記所定の押圧力よりも強い(タッチS2)か否かを判別する(ステップS20)。タッチパネル12での押圧力がタッチS2に達していない場合には、更にタッチパネル12でタッチS1が行われているか否かを判別する(ステップS22)。ステップS22でタッチS1が検出されない場合(即ち、タッチパネル12から指が離れている場合)には、ステップS20に戻る。これにより、フォーカスロック、AEロックされることになる。一方、ステップS22でタッチS1が検出されると、ステップS16に戻り、再度タッチ位置が検出され、指示枠58は後から指示された位置に変更され、新たな指示枠58が形成される。また、新たな指示枠58に応じたAE、AFが行われる。

【0031】

さて、撮影者がタッチパネル12を所定の押圧力以上で押圧し、ステップS20でタッチS2が検知されると、記録動作が行われる。即ち、記録用の画像信号が撮像部2から読みだされ、A/D変換器でデジタル化された後、所定の信号処理(YC変換やjpeg圧縮等)が行われる(ステップS24、S26)。かかる信号処理を経た画像データは、タッチパネル12のタッチ位置情報と共に内蔵メモリ(又は外部メモリ)32に記録され(ステップS28)、撮影が終了する。この時記録される位置情報は、例えば、液晶モニタ10の画面の左上のコーナー(原点)からの画素数(座標)でもよいし、画素数から判断した距離でもよい。尚、原点は画面の他のコーナーでもよいし、画面の中心点でもよい。また、画素数を利用せず、タッチパネル12の空間的な距離等を判定してもよい。このようにして、記録用の画像が確定する。

【0032】

尚、タッチパネル12でのタッチS2によって記録動作を行う場合には、シャ

ッタ音等を発生させ、シャッターリリースが行われたことを撮影者に知らせることが好ましい。

上記実施の形態では、タッチパネル12での押圧力によって撮影準備動作（S1）及び記録動作（S2）を指示できるようにしたが、これに限らず、タッチパネル12のアップボタン21やダウンボタン22の押圧の強さによって各種のカメラ操作項目における速度を変えるようにしてもよい。

【0033】

即ち、ズーム時において、アップボタン21やダウンボタン22の押圧の強さによってズーム速度を変えたり、画像再生時において、アップボタン21やダウンボタン22の押圧の強さによって再生画像のコマ送り速度を変えたり、撮影画像とテンプレート画像とを合成する合成モード時において、アップボタン21やダウンボタン22の押圧の強さによってテンプレート画像の選択時のコマ送り速度を変えるようにしてもよい。また、液晶モニタ10での表示可能サイズよりも大きい画像（例えば、パノラマ画像）を画面スクロールさせて表示する場合に、アップボタン21やダウンボタン22の押圧の強さによってスクロール速度を変更したり、更に液晶モニタ10の明るさ調節や音声再生時の音量調節をアップボタン21やダウンボタン22の押圧の強さによって調節速度を変更するようにしてもよい。

【0034】

尚、タッチパネル12での押圧の強さによって各種のカメラ操作項目における速度等を変える際に、図7に示すように押圧の強さを、液晶モニタ10のレベル表示部10'に表示させることが好ましい。これによれば、レベル表示部10'の表示を見ながらタッチパネル12での押圧の強さを調整することができる。

また、タッチパネル12から指を離し、或いは押圧力を減じると、その押圧力を示す信号も戻るが、これに限らず、押圧力を示す信号は戻らないようにし、更に押圧すると動作が進むようにしてもよい。

【0035】

この実施の形態では、撮影画像を記録する媒体として、画像データ等の各種情報を電子的に記録するメモリを用いるデジタルカメラを例に説明したが、本発明

は、撮影画像をビデオテープに記録するビデオカメラや撮影画像の記録媒体として銀塩フィルムを用いるカメラにも適用することができる。

【0036】

【発明の効果】

以上説明したように本発明に係る画像表示器付きカメラによれば、画像表示器の画面タッチによってカメラ操作ができるとともに、そのタッチ時の押圧の強さに応じて異なる指示を与えることができる。特に、タッチパネル上でのタッチ位置によって主被写体を指示することができるとともに、その押圧力によって撮影準備動作と記録動作とを行うことができ、一連のタッチ操作で主被写体を適正に撮影することができる。更に、主被写体をタッチするだけでフォーカスロックやAEロックなどもでき、フォーカスロックやAEロックする際のカメラ操作が容易である。また、タッチパネル上で各種のカメラ操作ができるため、カメラ操作部材を省略することができ、画像表示器の画面の大型化を図ることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

図1は本発明に係る画像表示器付きカメラの実施の形態を示す正面外観図である。

【図2】

図2は図1に示した画像表示器付きカメラの実施の形態を示す背面外観図である。

【図3】

図3は図1に示した画像表示器付きカメラの内部構成を示すブロック図である。

【図4】

図3に示した撮像部の構成を示す要部ブロック図である。

【図5】

図5はタッチパネルを使用して撮影動作を行う場合の実施の形態を示す画像表示器付きカメラの背面外観図である。

【図6】

図 6 は上記撮影動作手順を示すフローチャートである。

【図 7】

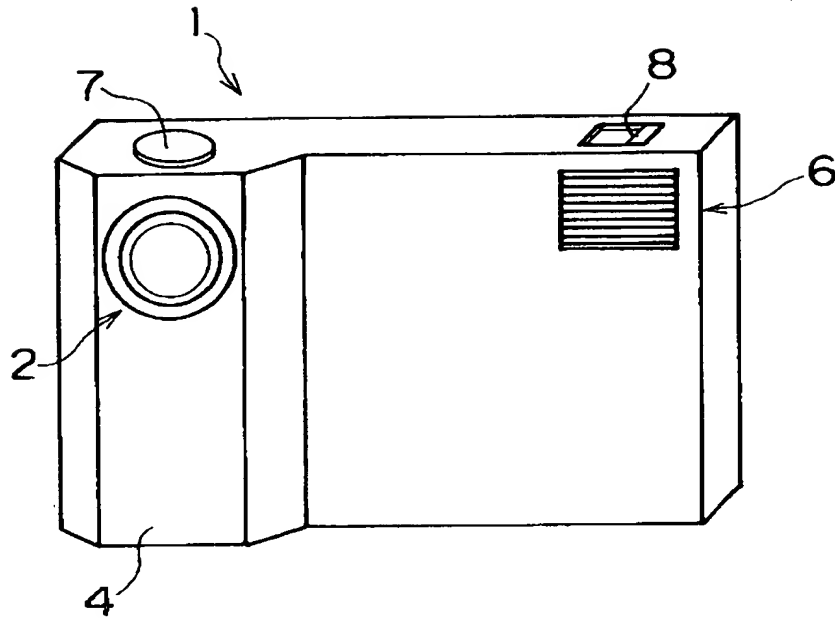
図 7 はタッチパネルを使用してカメラ操作項目の操作を行う場合の実施の形態を示す画像表示器付きカメラの背面外観図である。

【符号の説明】

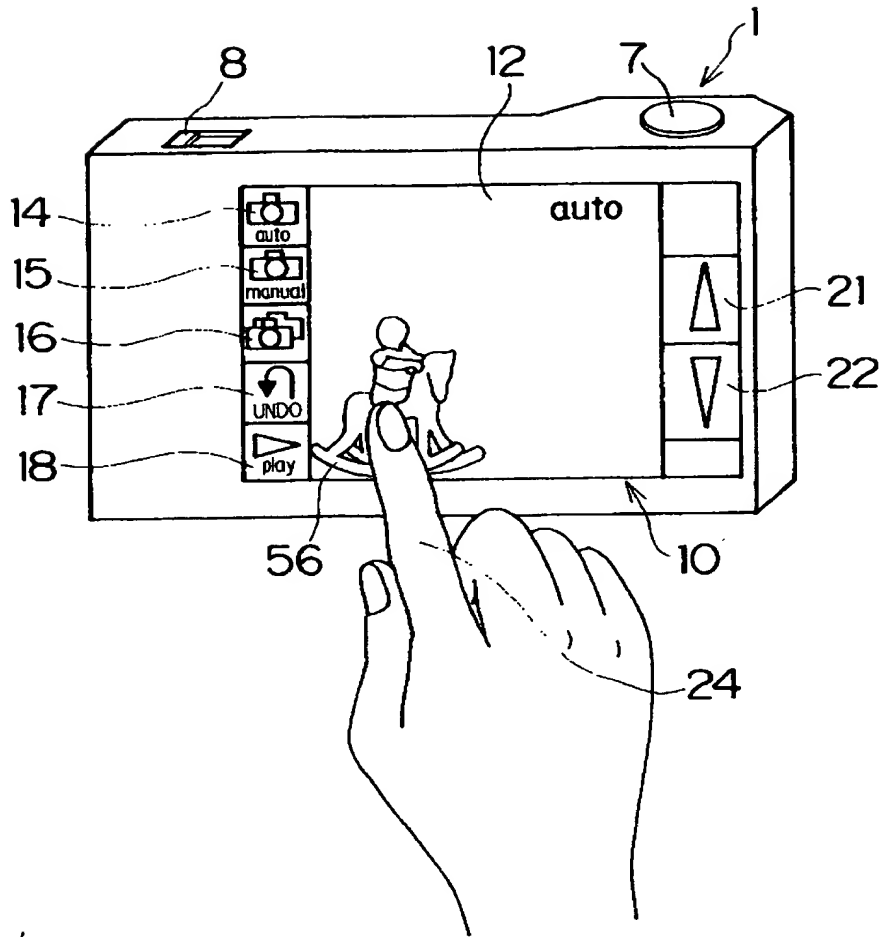
- 1 …デジタルカメラ
- 2 …撮像部
- 10 …液晶モニタ（画像表示器）
- 12 …タッチパネル
- 24 …指
- 30 …信号処理部
- 38 …中央処理装置（CPU）
- 56 …主被写体
- 58 …指示枠

【書類名】 図面

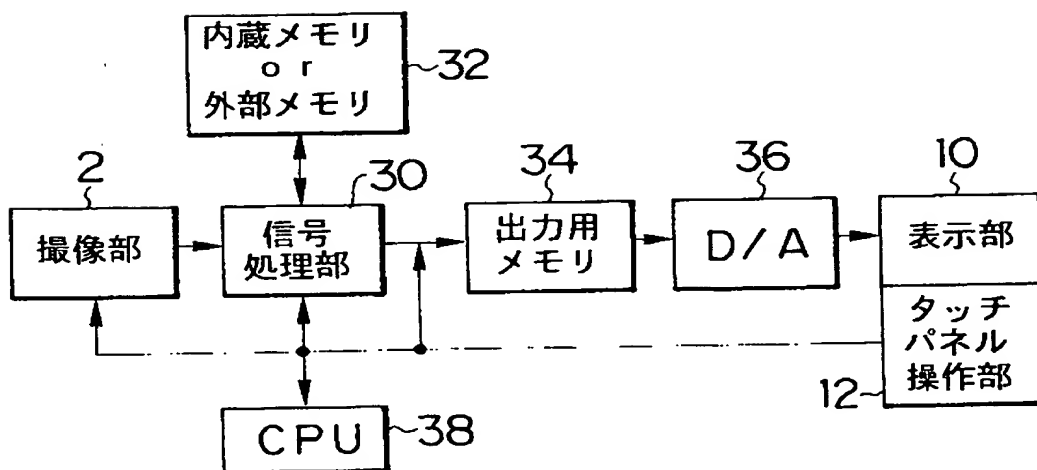
【図 1】



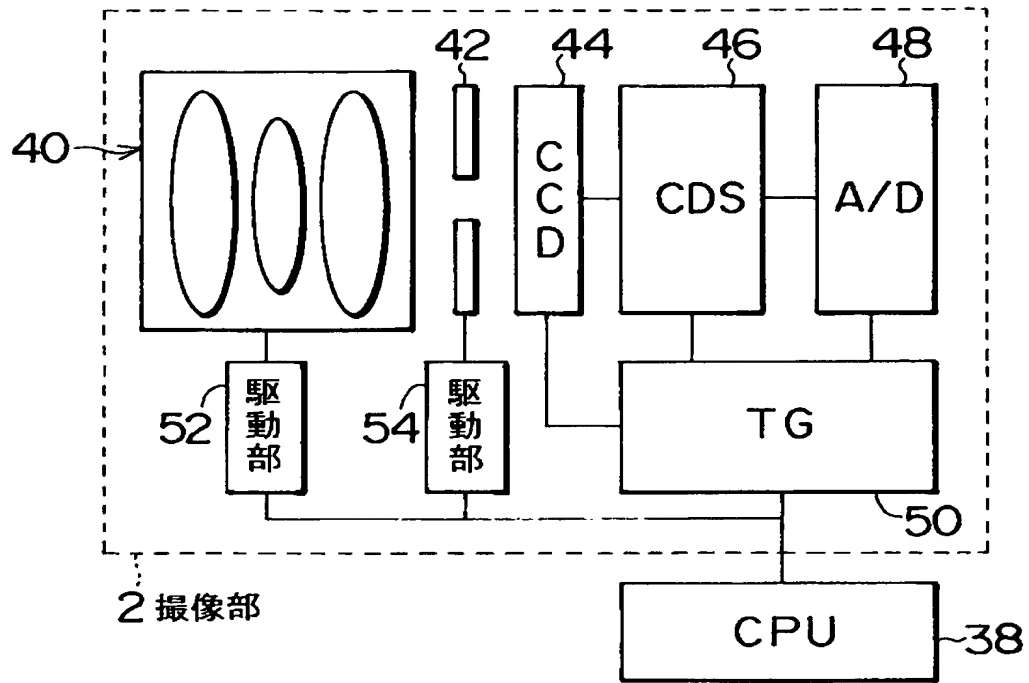
【図 2】



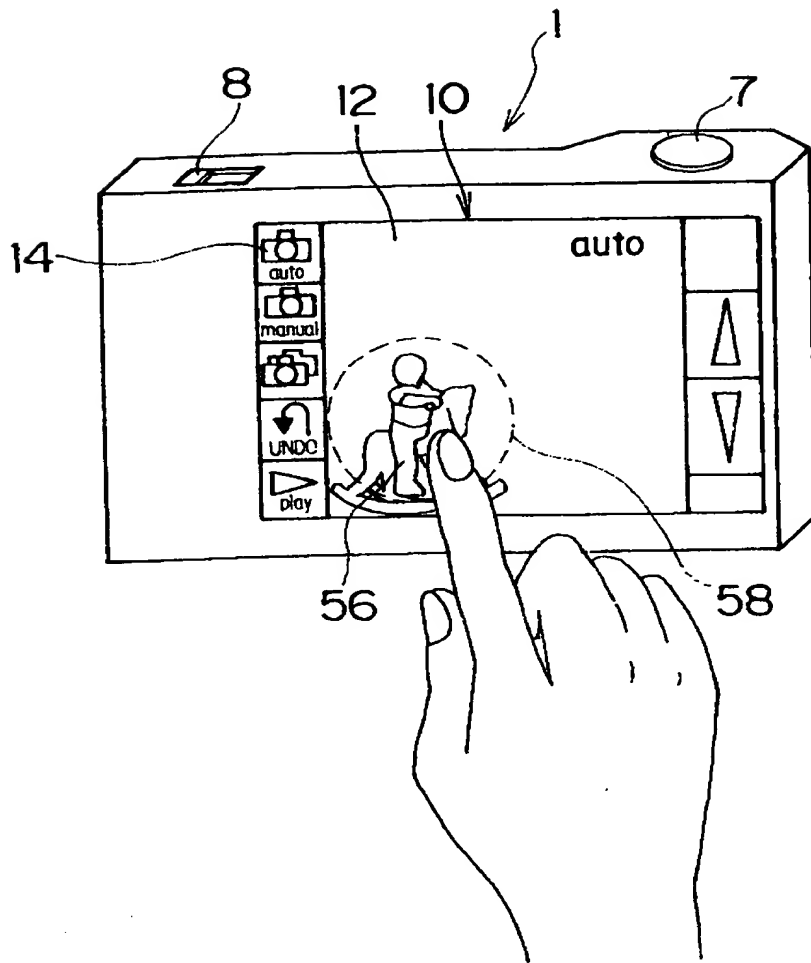
【図 3】



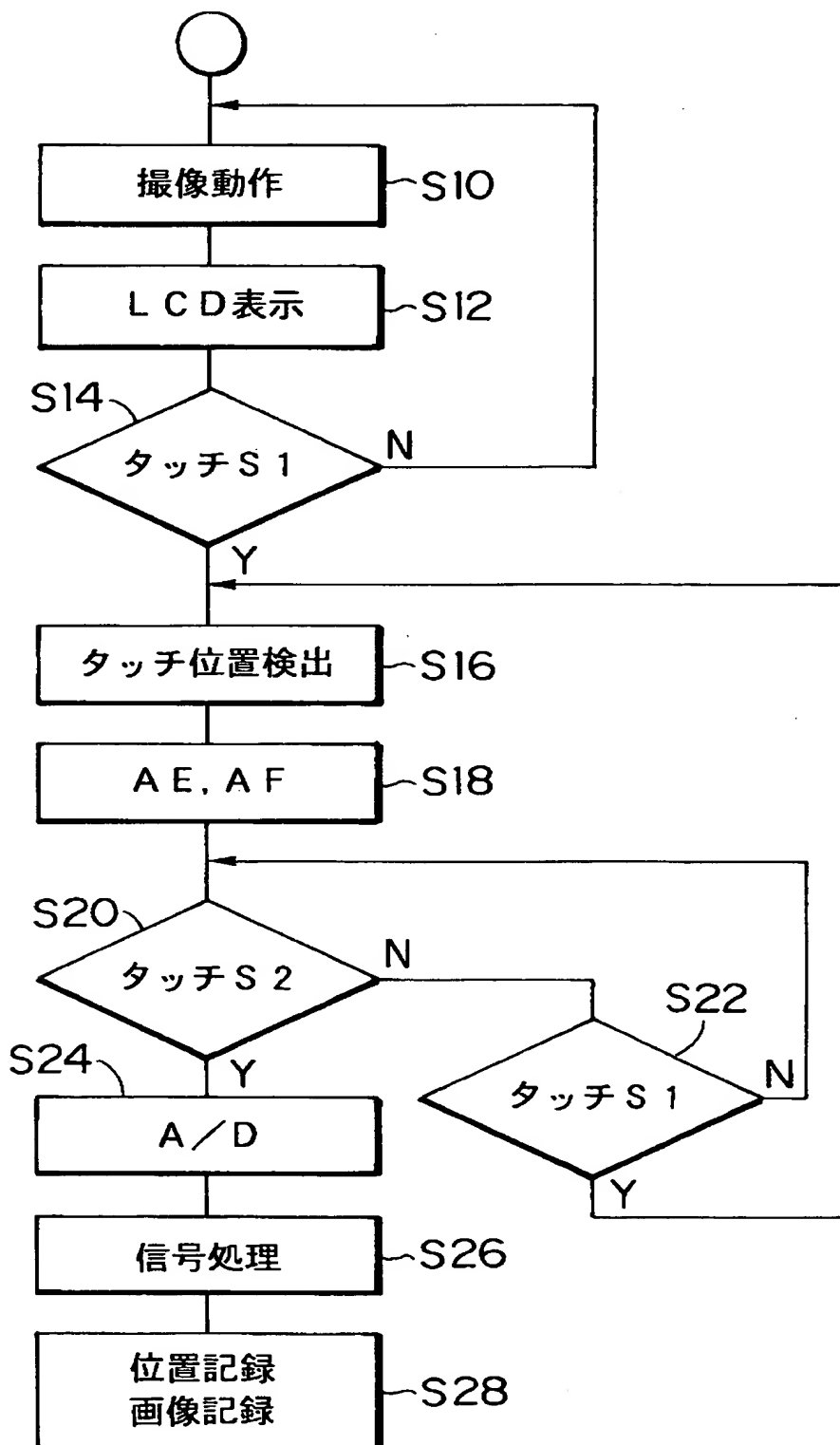
【図 4】



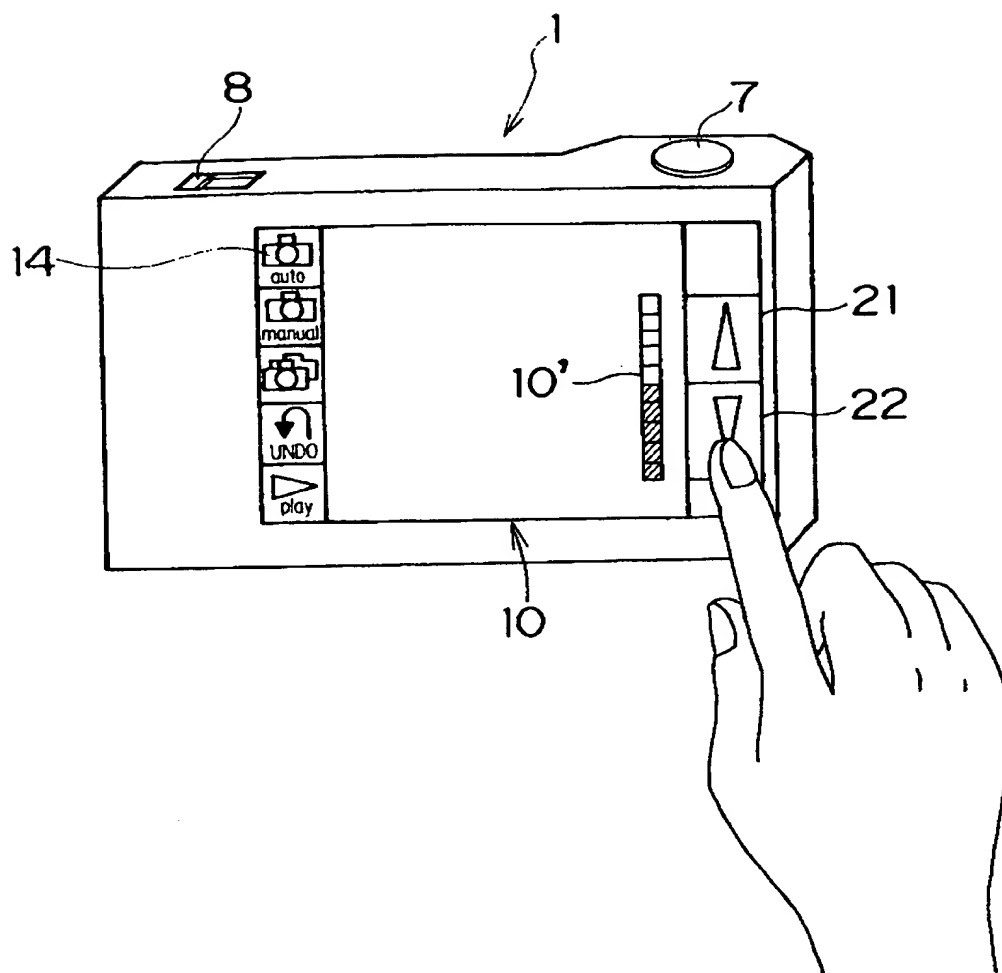
【图 5】



【図 6】



【図 7】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 画像表示器の画面タッチによってカメラ操作ができるとともに、そのタッチ時の押圧の強さに応じて異なる指示を与えることができるようにする。

【解決手段】 デジタルカメラ 1 は撮影画像又は再生画像を表示する液晶モニタ 10 を有している。この液晶モニタ 10 の上面には、タッチ位置及び押圧力を検知するタッチパネル 12 が設けられている。このタッチパネル 12 での押圧の強さに応じてカメラ操作系に対して種々の指示を与えるようにしている。例えば、タッチパネル 12 は、その押圧力が所定の押圧力未満の場合には撮影準備動作を指示し、所定の押圧力以上の場合には撮影動作を指示する。即ち、液晶モニタ 10 に表示されている主被写体 56 にタッチし、その主被写体 56 にピントや露出を合わせ、更に強くタッチすることにより撮影することができる。

【選択図】 図 5

【書類名】 職権訂正データ
【訂正書類】 特許願

<認定情報・付加情報>

【特許出願人】
【識別番号】 000005201
【住所又は居所】 神奈川県南足柄市中沼 210 番地
【氏名又は名称】 富士写真フイルム株式会社
【代理人】 申請人
【識別番号】 100083116
【住所又は居所】 東京都新宿区西新宿 1 丁目 8 番 1 号 新宿ビルディング 6 階 松浦国際特許事務所
【氏名又は名称】 松浦 憲三

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000005201]

1. 変更年月日	1990年 8月14日
[変更理由]	新規登録
住 所	神奈川県南足柄市中沼210番地
氏 名	富士写真フイルム株式会社